八碁連だより

令和６年２月号　第 388 号

雲龍寺（山田町）

発行日　令和６年２月１日(月)
発行所　八王子囲碁連盟
住所　八王子市大和田町
6-3-29-1119
電　話　042-646-0783
発行者　池田 正三
編集者　荒畑 昭一

https://hachigoren.com
八王子囲碁連盟

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は市民が、伝統文化である囲碁を通じて親睦を図り、健康が維持できるような機会を提供し棋力の向上を目指すとともに、囲碁の啓蒙と普及に努めることを目的とする。

巻頭言

記憶力がどうも

長房囲碁同好会　池口隆久

記憶力がどうも。齢がとしだからしょうがない。と考えておられる方がいませんか。私も実はその仲間なのです。どうも人の名前が思い出せない。うっかり間違って言うと失礼だろうから、名前は言わないようにして、話を済ます。そのようなことありませんか。

私は、恥ずかしくても、相手の名前を聞いたほうがいいとはおもうのですが、これがなかなか勇気のいることなのですね。二人で会話をしているときに、第

三者の名前が出てこないことがある。「ほらあいつだよ。六年生の江の島遠足で、泳いでしまったやつ。何という名前だっけ。あいつは。」こまったことに二人ともその第三者の名前が浮かんでこない。

こうなると悲劇ですね。21 歳ころがピークなのでしょうか。脳細胞は徐々に減少し始めているのでしょうか。減ってもいいのです。もともとたくさんあるのですから。あまり気にはしないほうがいいのです。脳に刺激を与える工夫をすることと、脳の仕組みを理解して、その対策をかんがえたほうがいいのではないでしょうか。

あることについて学習した場合ですね、翌日はその記憶が７・８割は残っているものです。ところが一週間もたつと大抵の人はその記憶が１・２割になっているようです。５割も覚えていたら天才・秀才の仲間でしょうね。誰でも１・２割の記憶があるのですから、これを大事にしたいものです。

私は、記憶の悪いことにかけては自信がありましたから、ひとの３・４倍は勉強しようと思いました。その結果、まあ何とか学校の勉強にはついて行けたようです。

60 歳を過ぎたら、退化すればこそ良くはなりはしない、と勝手に決めつけていました。脳にあまり期待できないのなら、弓道はあまり頭で考えずに体で覚えようと考えました。手と足と胴体で十文字を造り、それを徹底的に守る。もう一つ大事なことは、精神面です。

理想は、「何も考えない」ことです。「無」とも「空」とも言いますが、この状態に心を置くことは大変に難しい。これには困りました。つい、脳が勝手に計算して、的に中てたいとか、格好よく引いて褒められたいとか考えてしまうのです。決勝戦の射詰などは特にそうです。

あと一本を中てれば優勝という場面では、つい計算してしまう。「あと一本で優勝」と。もう失敗です。考えないようにするのがいちばんむずかしい。

私は、今でも、弓道は精神面の修業が５割をしめると信じています。高段者になるほどこのことが分かってくるのです。三段でつまずいてしまう人もいるし、四・五段でつまずく人もいます。つまずく原因は、「中てたい」という願望があるからです。格好が悪いと、中てても審査員は評価してくれません。まずは、美しく、格好が良いことが、全てです。それで中たるのが良いのです。

「中てる」のではなくて「中たる」のが良いのです。なりふり構わず、中てにいく人は周りから敬遠されます。これが上達の妨げになるのです。

話はよこにそれましたが、囲碁に話を戻します。私は 60 歳になればもう上達は望めないと考えてはいました。

しかし、こう考えました。還暦を過ぎれば、物忘れは激しくなり、記憶力もわるくなり、覚えるそばから忘れていくだろう。それなら挑戦してみよう。記憶したものが忘れられていく曲線を想定し、一週間で１割の記憶が残るということを重視したのです。１割が残るなら、その１割の学習成果を積み上げればいいじゃないか、と考えたのです。

80 歳を超えた今では、昔の棋士たちの打碁を碁盤の上に並べているだけです。私の場合は１割も怪しい。すぐに忘れます。だから、頭は忘れても、指先が覚えてくれないかと、毎日のように碁石を並べています。その成果は、もっか実験中ですから、まだ答えは出ておりません。

脳には期待できないから、指に覚えこませようなんて無理なのですかね。そこらでお会いした時に聞いてください。「どうです、指は覚えてくれましたか」と。

令和５年度　第９回理事会　議事録

日時：令和 5 年 12 月 23 日（土曜日）9 時 00 分～12 時 00 分

場所：大横保健福祉センター　第 1 会議室

出席者：池田、澤田(議事録作成)、木村、端山、荒畑、
金本

会長報告

・11 月 26 日　八碁連大会二段以下大会の開催。

・12 月 7 日　学園都市文化課へ八碁連タイトル囲碁大会及び女性囲碁大会の後援名義使用申請書提出。
学園都市文化課へ八碁連大会の実績報告書提出。

・12 月 10 日　日本棋院へ八碁連大会の実績報告書提出。
各囲碁同好会長へ会長会の資料送付。
各同好会長へ来年度以降の理事推薦順番表を送付及び来年度理事を推薦する囲碁同好会長（浅川、恩方、元八王子）へ来年 2

月 10 日までの報告依頼。
各囲碁同好会長へ会員募集チラシ送付（メール）
・12 月 13 日　八王子市広報プロモーション課へ会員募集掲載依頼
・12 月 23 日　会長会の開催
各囲碁同好会長へ会員募集ポスター、チラシ配布。
・3 月理事会は 3 月 23 日(土)、午前、大横保健福祉センター第 1 会議室。
総会は 3 月 10 日(日)、午前、大横保健福祉センター第４会議室。

各理事報告

・２月号の予定記事内容は、通常通りの巻頭言、理事会議事録、会長会報告なので、投稿記事等を予定する。（尚、２月号の巻頭言は入手済み。）
・来年度（令和６年度４月以降）の「八碁連だより」「巻頭言」の執筆担当輪番を決めないと編集に支障が生じるので早めに決める必要がある。
・令和 5 年度会費納付実績は会員数 249.5 名（前期と後期で人数が違うため）であった。尚、研修部は活動がないため会費納入はゼロである。
・今年度の収支見込みは 100 千円以上の収入超になる見込みである。
・お歳暮は恩方農業環境改善センター、倉内氏の２件送付済み。

議案討議事項

１　八碁連同好会対抗団体囲碁大会の役割分担について
役割分担案で検討を行い決定、参加チームが少ない場合は、会員が多い同好会へ３チーム編成を要請する。対局カードは、多摩地区市町対抗団体戦の対局カードを入手し参考とする。

２　八碁連タイトル囲碁大会及び八碁連女性囲碁大会の実施要領案について
タイトル囲碁大会は、昨年度と同様内容であり、女性囲碁大会は、参加資格を近隣市町村まで広げる案で検討を行い決定した。

３　囲碁用具の東浅川保健福祉センターへの運搬等について
1 月 4 日以降、従来通り 3 階に保管できるようになり、現在の保管場所から運搬等の対応については、会長会終了後、関係者で協議する。

４　その他
・横断幕の製作について、八碁連同好会対抗団体戦、八碁連タイトル囲碁大

会、八碁連女性囲碁大会を発注済みで１月中旬までには納入予定。

・現在、七段の者について、昇段の判定のため、対象となる大会の優勝回数をタイトル囲碁大会までに整理する。

・次回理事会は１月 20 日(土)、9:00～、大横保健福祉センター第１会議室

★令和５年度会長会概要報告

今年度、初めての会長会が、下記日程、場所、出席者の下で開催された。最初に、八碁連会長から、挨拶と共に現下の直面する問題点や克服すべき課題等について、問題提起や今後に向けた方向が提示された。

その後、各同好会の現状報告等に続き、来年度に向けた提案検討事項の議論を行った。

日時：令和５年 12 月 23 日（土）13:00～16:00

場所：大横保健福祉センター（第４会議室）

出席者：会長（池田)、理事（澤田、金本、木村、荒畑、端山（欠)）浅川（三島)、恩方（藤森)、棚原（元八王子)、中野（宮崎)、大和田（成田)、石川（石川)、台町（欠席)、南大沢（代理)、長房（澤田)、川口（高取）

（会長発言要旨）

１．各同好会においては、活きいき大会など参加者が減少する状況や同好会によっては、会員が少なく、高齢化も進んでおり、人員上、財政上も大会運営が厳しい、理事選出も厳しい状況である。今後、大会数の減少や運営方法などの見直しを検討する必要がある。

２．本部においても、主催大会も多く、理事の業務も多いことから、負担になっている部分もあり、役員になりたがらない問題の一因にもなっている状況にある。今後、主催大会数の見直し、業務の簡素化など検討が必要である。

３．会員が近年減少傾向、高齢化もあり、新規会員確保が重要な課題である。

これまで同様、各囲碁同好会での取り組みや八王子市広報への掲載、市民センター等への募集ポスター掲載など引き続き取り組む必要がある。

また､八碁連会員のメリットを明確にして広く PR すること及び会員のメリ

ットが効果的になるよう制度の見直しを検討する必要がある。

（各同好会長からの主な報告等）

・会員減少対策等も考慮し、定例会前１５分間位、「勉強会」を開催している。また、新規会員の発掘も兼ね、今後「親子囲碁教室」など開催を考えている。
・昇段、昇級の意欲に応えるためにも、高段者による指導を実践している。
・勉強会を増やすと、自由対局が減りやすい。やる気を起こすため、独自の大会を開催している。
・級位者が少なく、指導的な対局があまりない。
・市民センターのお祭りに囲碁大会を開催し、八碁連をＰＲしている。OB の参画や地域の囲碁愛好者など機会を捉えて勧誘したい。
・会員の減少、体調不良者やパソコン操作者の減少、運転免許の返上などにより会を運営する機能が極端に低下しており、令和６年３月 31 日をもって八碁連から退会する考えである。（川口）
・半年ごとに大会を開催し、優勝、準優勝、３位を決定している。

(本部)

―会員の新規加入対策は重要な課題であり、同好会での取り組みを引き続きお願いしたい。本部においてもこれまでの取り組みに加え、各同好会での新規加入対策（会員外を対象として囲碁教室開催など）の経費の一部を助成することも理事会で検討していく。(会長)

（提案検討事項）

１　第１回八碁連同好会対抗団体囲碁大会実施要綱案について

(提案内容)

・実施要綱の細部は、「八碁連だより１月号」に掲載の内容。
議論の結果、実施要綱案については、了承された。
16 チーム編成できない場合は、別途、追加チームを編成予定。

２　令和６年度活きいき大会及び本部主催大会の見直し検討

(提案内容)

各同好会における活きいき大会の運営及び財政上の

負担を軽減すること、及び本部理事の業務を軽減するため、

①活きいき大会は、隔年実施（2 年に 1 回）とする。本部からの出席は、会長のみとし、競技委員長は主催同好会で担当し、本部作成の競技ルールで対応する。

②本部主催の同好会対抗団体囲碁大会は隔年実施（2 年に 1 回）とする。女性囲碁大会は当面休止とする。

※いずれも規約改正はせずに当面運用措置として実施する。

議論の結果、

①活きいき大会は、一部毎年実施が良いとの意見もあったが、多数の同好会から賛成の意見も出され、提案内容で了承された。

②女性囲碁大会は、1 月も少ないことから、廃止との意見も一部出たが、提案どおり当面休止とすることが了承された。

なお、本年度の大会（2 月 11 日）の参加状況も今後の判断の参考にする。

3　八碁連 HP の運営検討について

(提案内容)

昨年度の総会以降、外部委託する方向で業者等と折衝してきたが、現在の HP の構成や費用面等で折り合わず、継続して検討してきたところである。新たに HP を作成することは財政上困難と考えられ、現行のソフト(ワードプレス)で運営できる八王子市内の専門業者を探して折衝しており、必要最小限の情報掲載を前提に HP の存続に向けて取り組む。議論の結果、提案内容で了承された。

4　その他(意見等)

〇現在、昇級・昇段規程では、1 級まで各同好会で決められるが、級位者は初段を目標としており、初段まで同好会で決められるようお願いしたい。

(本部) ―意見を踏まえ、理事会で取り扱いを検討する。（会長）

投稿

2023 年雑感

大和田囲碁同好会　森本慎一

2023 年も暮れようとしています。機会をいただいた事もあり、私的に今年を振り返ってみようと思います。

世の中的には、猛威を震ったコロナが終結とまではいかないものの漸くマスク無しでも外出できるようになり、7 回も打ったワクチンのおかげか、感染したもののたいした病状迄には至らず、この分野でノーベル賞を受賞したカリコ、ワイスマン両科学者の恩恵を感じているのは私ばかりでは無いと思います。一方ウクライナに続きパレスチナでも大きな戦争状態となり、日本の外交姿勢が問われる中で、国内政治に目を向ければ何十年も続いてきた金権政治に、一部司法の手が及ぼうかという段階です。150 円/ドルという極端な円安も少子化と高齢化に喘ぐ経済に少なからず影響しました。

かく今年は、どちらかというと暗澹たる時勢にあって、私個人で言えば 3 月に当八碁連に入会し、囲碁を通じて知人が一挙に増えた年でもありました。失礼ながら、1949 年生まれの私より年配の方が多い中で囲碁の段級の差はともかく、新人を暖かく迎えて下さいました。

個人の趣味は数多くありますが、その分野の方々は同好の各位に悪い人はいないとよく言います。例えば、釣りの愛好者、陶芸好きの人。皆さんその仲間はいい人だと言います。それぞれに理由はあると思いますが、自分も囲碁について真に疑わない一人です。世界の平和を希求し、犯罪を憎みと言っては言い過ぎでしょうか。

元はと言えば、西八王子のとある居酒屋で細々と囲碁の会をやっておりましたが、コロナ禍で閉店の憂き目に遭ったのをきっかけに、参加しました。来年以降も宜しくお願い申し上げます。

【編集後記】

表紙写真は、山田町にある禅宗の「雲龍寺」五重の塔、同宗を開山した中国の達磨大師（だるまだいし）、（日本のモデルである）、同大師の大きい木彫りが、この塔の中に収められていると言う。（S・A）